

救急統合データベースへの患者登録に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：平成 28年 3月 17日 ～ 平成 32年 3月 31日

〔研究課題〕 救急統合データベースへの傷患者登録と、登録データを用いた臨床研究

〔研究目的〕 救急搬送人員は年間 500 万人を超えてなお増加しつづけており、社会問題化しています。これからは超高齢化に伴う高齢者救急患者の増加や多様化する疾病へ対応しつつ、緊急性の高い傷病の予後改善に寄与する対策の実施などが求められます。そのため現在行われている病院前救護と診療、病院診療とその治療成績に関するデータを全て収集し、救急医療の質を評価し、向上させることが必要です。本研究では、救急医療にかかわるデータを全国の医療施設(主に救命救急センター)から網羅的に収集し、代表的な救急傷病の診療の質向上に寄与する科学的根拠を創出するための分析を行います。

〔研究意義〕 施設ごとのデータを全国データと比較することにより、各施設の診療の現状を評価することが可能になり、診療の質向上に寄与することができます。さらに単一施設でのデータ集積では不十分な傷病に対する有効な治療介入の解析、他の臨床情報データベースとの連結拡張によるエビデンス創出が期待できます。

〔対象・研究方法〕 本研究の対象となるのは、全国の救急医療施設を受診され、入院された重症の傷病を有する患者様です。当初は重症外傷と院外心肺停止の患者様を登録しますが、登録対象疾患は順次増えていく予定です。帝京大学医学部附属病院では、救命救急センターと外傷センターを受診された患者様を登録します。個人を特定できる情報を除外した形で、受傷原因、受傷時の血圧、心拍数、呼吸数、病院での処置・治療内容、入院日数、死亡の有無などのデータを登録します。登録はインターネットを用いた入力により行います。

〔研究機関名〕 2015 年度は帝京大学医学部附属病院を含む 17 病院が参加し、順次増加していく予定です。

〔個人情報の取り扱い〕 データは匿名化(個人が特定できる情報を除外)した形で登録されていますので、個人が特定されることはありません。データベースに登録されたデータは、不正なアクセスや改ざん漏えいが起きないように厳重に管理されています。帝京大学で全国データを分析する際は、データ管理責任者が責任を持ってデータの管理を行います。データは研究目的以外に使用することはありません。研究成果は個人が特定できないような形で発表します。お申し出により登録をしないことができます(データバンクへ登録後でも、お申し出によりそれ以降の分析から個人データを除外することは可能ですが、お申し出時点より前の分析および発表済みの研究結果からの削除はできません)。お申し出により診療上の不利益をこうむることはございません。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者： 救急医学講座教授 坂本哲也

研究分担者： 救急医学講座准教授 中原慎二

住所：板橋区加賀 2-11-1 TEL:03-3964-1211(代表)[内線 33129]

Email: snakahara@med.teikyo-u.ac.jp